

初冬の雁坂峠から甲武信岳・戸渡尾根へ



【行動日】2019年12月7～8日 晴れ

避難小屋泊縦走

【メンバー】GL 澤田路子 SL 鈴木憲二 大木（記録）

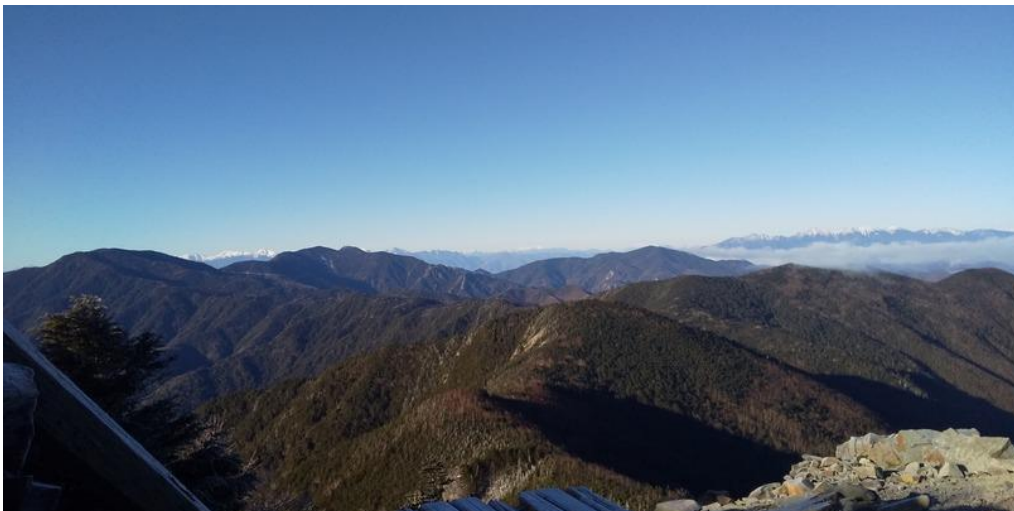
【ルート】12/7 JR 津田沼駅 5:00⇒中央道⇒勝沼 IC⇒

西沢渓谷雁坂トンネル料金所ゲート駐車 8:05 発⇒雁坂峠⇒
破風山⇒破風山避難小屋着 15:35（泊）

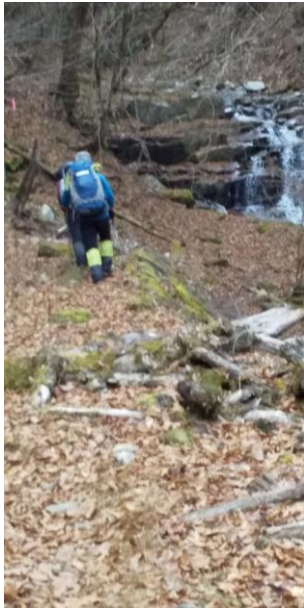
12/8 避難小屋発 6:30 スタート⇒甲武信小屋⇒頂上⇒木賊山
⇒戸渡尾根分岐⇒戸渡尾根⇒徳ちゃん新道⇒西沢山荘（甲武
信登山口）13:20 着⇒道の駅みとみ⇒料金所ゲート着



大好きな避難小屋に泊まり
ました。（寒い！！）



甲武信岳山頂より真っ白な北アルプスが見えました。（山頂スルーしなくて良かった～(^^♪）



【7日土曜日】

早朝 4 時半、鈴木宅に駐車させてもらい、愛子さんのお見送りで出発し JR 津田沼駅にて澤田路子さんをピックアップし中央道⇒勝沼 IC⇒西沢溪谷道の駅みとみを目指す。

「無料駐車場で、尚且つすぐ横が登山口」に惹かれ、雁坂トンネル前の管理事務所に駐車し出発する。

（※下山後に駐車場にたどり着くのに苦労させられるとはこの時点ではわからずルンルンであった。。。）



舗装された林道をテクテク歩き林道終点の沓切沢橋に着く。ここで衣類調整タイム、この先からは峠道にとりつく。久渡沢本流の川原をピンクテープに導かれ幾度と渡渉する。沢筋を離れて山道になり樹林帯を登って行く。

明るく陽がさし前を見上げると、山桜？？と思いきや、一面の霧氷にうっとり！「うわー綺麗！！」の感嘆。しだいに急登になり息が上がるが、粉雪か氷か、白くなった冬枯れの落葉を踏みしめると嬉しくなる。

ジグザグのかやとの斜面を登りきると、一面白く霧氷の雁坂峠が見えてきた。

（寒っ～～ぶるぶる～～）



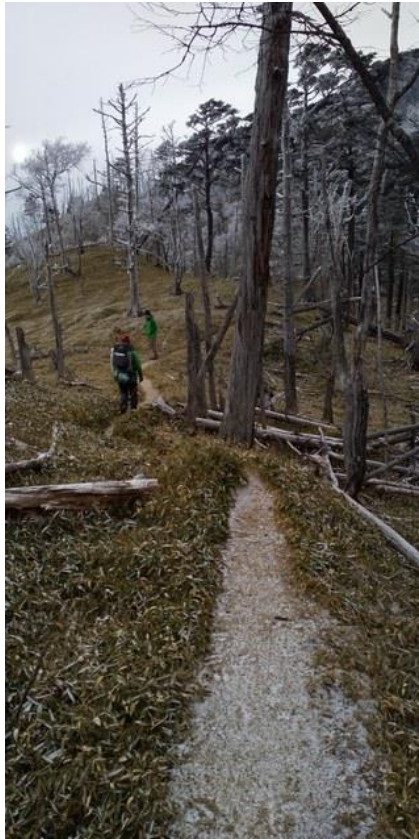
ずっと行ってみたかった
雁坂峠！！（大木）



岩だらけの山道にある破風山



振り返れば富士山



暖かく着込み雁坂領⇒東破風山⇒西破風山と
岩稜帯を登り下りする。寒くてしょんぼりした
シャクナゲの葉が群生している。

そろそろ小屋が見えてもいい頃ではと寒くて
へとへと感、満載。。

小屋を発見！俄然元気な足取りになる。

第一先客発見！

彼はテント泊だと聞く。

今日は我々だけ。

マキを集めストーブに火をおこす。(暖かい)

寒い寒い。。



リーダー特製鍋で調理スタート。

美味しい鍋とまきストーブは最高のごちそう。

6 時頃、ひょっこり長身の若者が仲間入り。

大学山岳部出身の彼は 25 歳で津田沼に住んで
いるという。

ちばやまに引き込もうと企むが(笑)

来年には故郷の長野へ帰り消防士になるという。

両親より歳のいった我々と気持ちよく話してくれ
て嬉しいひと時であった。

小屋には銀マット・シュラフ 1 枚・毛布 2 枚

があり、お借りしたがそれでも寒くて目が覚めた。

小屋の周りは缶ビンペットボトルが散乱しており

ちょっと残念であった。



【二日目】

翌朝、若者は5時に出発した。今日は金峰山まで行き最終バスに乗るという。

我々は小屋を綺麗に掃除し6:30に出た。

甲武信岳、頂上スルーせずにコブシ小屋にザックを置いてピストンで登る。

木賊山は広くザレており凍って歩きづらく、お助けロープがありほっとした。

樹林帯を急降下、元気なシャクナゲの葉の群生と一緒に、徳ちゃん新道への分岐を走り、下りきると閉鎖中の西沢山荘に到着した。(お疲れ様でし)

下山後は道の駅みとみにザックを置かせてもらい

「雁坂峠登山口」の道標からトンネル前の駐車場を目指してルンルンで歩き出した。。が、ちょっとしたトラバースが目指す方向を失うことになり、舗装され

た道をうろうろすること1時間程、やっとトンネル前の駐車場が見えてきたのであった。
(トホホである。)

笛吹の湯で汗を流し女将さん推薦の美味しいほうとうのお店「七福」に入る。真面目なご主人が作る野菜具だくさんのほうとうはとても美味しかった！！(多すぎて二人でちょうどいいかな)

個人的には今年度の登り納め山行。大好きな避難小屋で締めくくることができました。

(避難小屋なので大きな声では言えませんが・・)

記録：大木

霧氷はこちら↓



霧氷。

